

エレクターメトロマックスQ 組立説明書

2011.09

この度は、エレクターメトロマックスQ をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品を末永く安全にお使いいただくために、この説明書の「警告」「注意」を良くお読みいただき、ご理解のうえ遵守していただくようお願いいたします。

ご使用前に必ずお読みください

■ 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。

※ 商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

■ 組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。

■ 本書の「警告」「注意」をよくお読みいただき、ご理解の上遵守していただくようお願いいたします。

■ お取り扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については保証いたしかねます。



● 耐荷重を超えて物を載せないでください。

棚一段あたりの耐荷重は、375kg（等分布）です。耐荷重を超えた負荷を与えると、破損やケガを招く恐れがありますので厳守してください。

● 踏み台にするなど、ぶら下がる・上に登るような行為は絶対に行わないでください。

転倒や、積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。

● コーナーロックには、棚板の移動・取り外し時以外には触らないでください。

ロックが外れると、積載物の落下により、思わぬ事故となる恐れがあります。

● 商品の改造は機能低下の原因となり、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。絶対におやめください。



● 組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。

床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。

● 固定部品がずれたり、棚が水平になっていないなど組み立てが不完全な場合は、そのまま使用せずにもう一度組み立てなおしてください。

● 傾斜した場所や、床面がやわらかい場所など不安定な場所には設置しないでください。

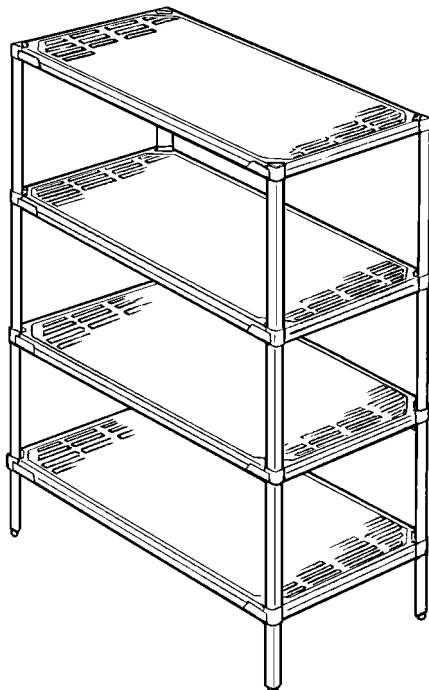
積載物が落下して破損したり、転倒して思わぬ事故となる恐れがあります。

● 棚板の開口部より小さいものは、落下して破損する原因となりますので載せないようにしてください。

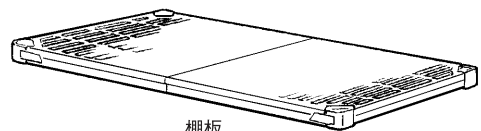
● 棚の高さを変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。

● 清掃の際には、中性洗剤をご使用ください。（水で濡らした布で拭いてください）

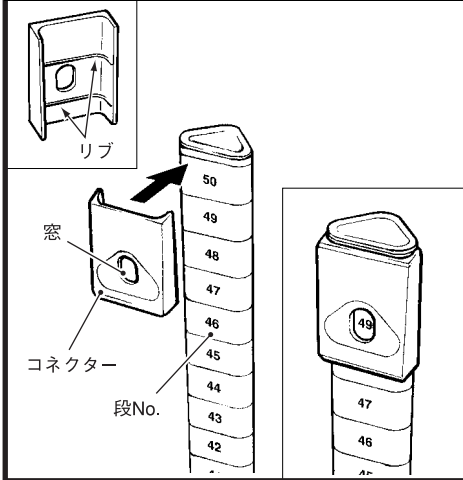
■ 組立例



■ 構成部品

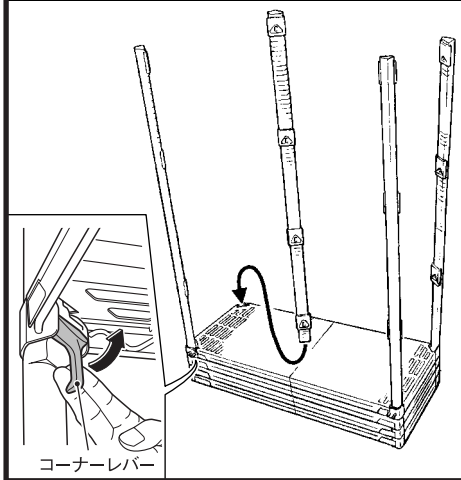


1 コネクターの組付け



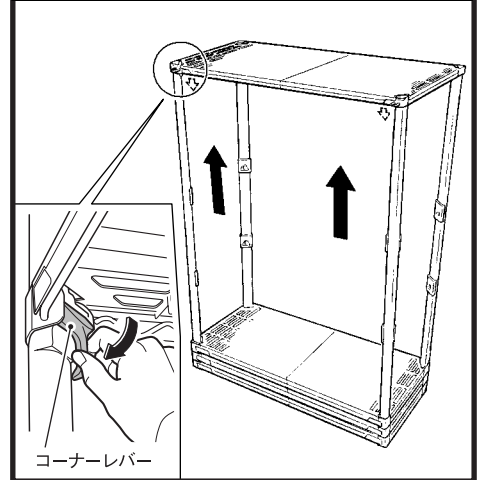
棚板を固定する高さにあわせてコネクタをポール4本に取り付けます。中央の窓の中にボールの数字が見える位置でリブを溝に合せて取付けます。上下に動かないことを確認してください。

2 ポールの組付け



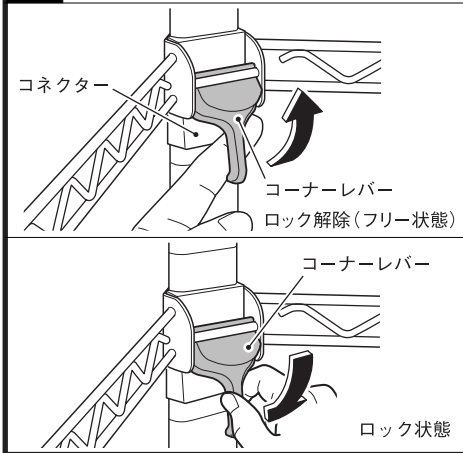
棚板のコーナーレバーを内側に押し上げ、棚板をそろえます。棚板の四隅にポールを差し入れ、コネクタの位置にズレのないことを確認します。

3 棚板の固定



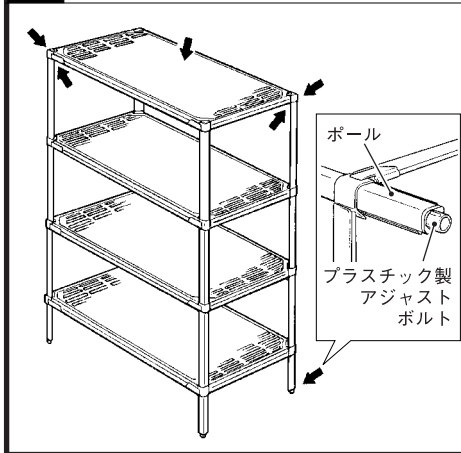
棚板を引上げ、コネクタの上端まで通過させた後、静かに降ろします。裏側のコーナーレバーがコネクタに並行になっていることを確認し、並行になっていない場合は、ポール側へ押し込みます。

4 棚板の位置変え



棚板の位置を変える場合には、コーナーレバーを手前に引き上げ、ロックを解除します。ロックを解除すると棚板が落ちることがありますので、手で支えるなど十分に注意してください。

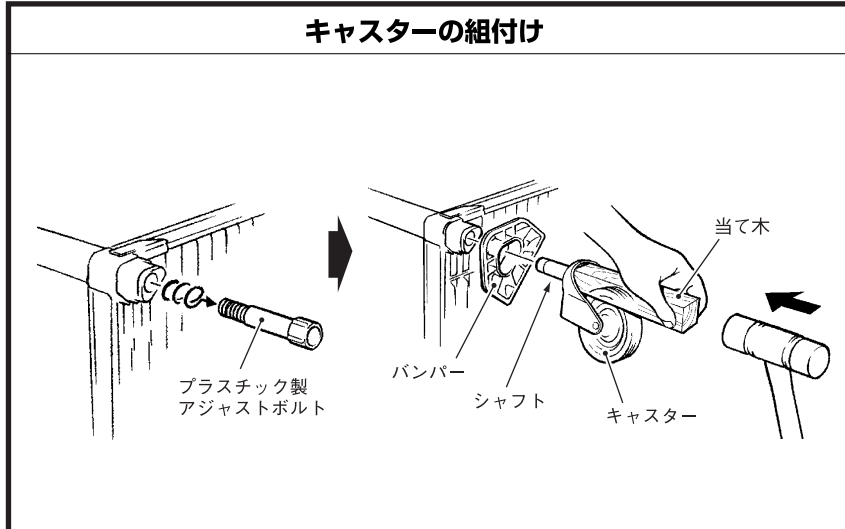
5 棚の組付け確認



組付けが終了したら、棚板の上から力を加えて各部の固定が確実であることを確認してください。また、プラスチック製アジャストボルトにより高さ調整をしてください。

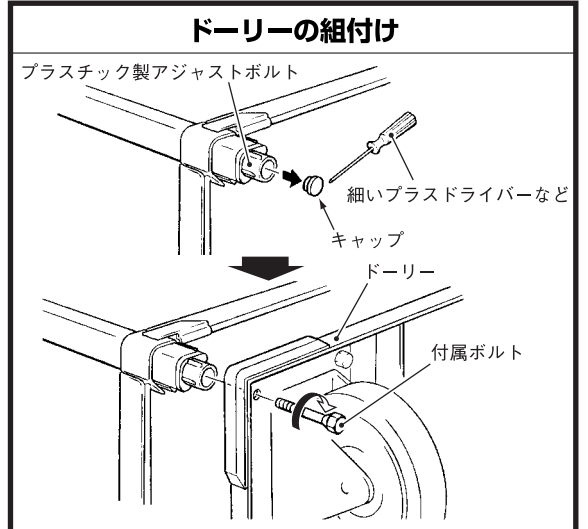
■ キャスターまたはドーリーの組付け

キャスターの組付け



ポール下端のプラスチック製アジャストボルトを取外します。バンパーを差し込みキャスターのシャフト部を挿し入れ、キャスター裏面の金具部分に当て木等を当ててハンマーで叩き込みます。シャフトの付根まで打ち込んでください。

ドーリーの組付け



ポール下端のプラスチック製アジャストボルトのキャップを、細いプラスチックドライバーなどで突き刺して取り外します。ドーリーの四隅の孔にアジャストボルトの位置を合わせ、ドーリーの下側から付属ボルトをねじ込み固定します。